

夢 通信

平成22年度
平成23年春

櫻井甚一
県議会報告
特別会報号



新潟県議会議員 櫻井 甚一 事務所

〒959-1226 燕市小牧572 株マテック内
TEL 0256-66-3300 FAX 0256-66-3301
ホームページ <http://sakuraij.net/>

経 歴	
1952年(S27)	7月11日生 59歳
1971年(S46)	国立興農短期大学卒業
1999年(H11)	田西市議会議員当選
2003年(H15)	県議会議員初当選
2005年(H17)	県議会議員再選
2006年(H18)	建設部次長兼農林部次長
2007年(H19)	県議会議員2期目当選
2008年(H20)	産業経済委員会委員長
2009年(H21)	建設公安委員会委員長
2010年(H22)	議会広報委員会委員長 青年会役員 大塚町議会議員 副議長
2011年(H23)	総務文教委員会委員長
	厚生環境委員会副委員長

ご挨拶

この春の改選により無投票で三期目の当選をさせて頂き、
堅苦しいとして一層の重責に身を引き始めて日々の政治活動を行
っています。

さて前期四年間一番大きな出来事としてやはり政権交代が挙げ
られます。現状からの変化を望む国民の期待も大きいものがあり
ましたが、その結果権柄と云われる政権運営が多くの利益を
流出させ国家を弱体化させてしまいました。

その様な時にあつた三、一東日本大震災が発生し、地震・津
波が多くの尊い人命を奪ひ、各地に大きな被害を与えてしま
いました。また福島原発も被害を及ぼし、放射能被害も未だ終息の
見通しが立たない中、各地に放散能による被害が発生していま
すが、この未曾有の困難に対する一連の政府の対応に、国民も
国際社会も大きな不安と不信を抱いています。



三期目の目標 ふるさとの可能性を活かす政治

◎高度な技術と伝統に培われた地場産業

長年培ったモノ作りの技を磨きあげ、
中小企業の力を結集し新潟県経済の再生と活性化で
雇用の確保を図ります

◎豊富な自然に育まれた農林水産業や温泉

食料の確保は国の基本。適地適産農業の展開と
競争力のある攻めの農林水産業を展開します

◎高速道路、新幹線、空港、港湾などの交流点

これらの豊富な資源を活かし、対岸交流を
拡大し災害に強い

新潟県発展に全力で頑張ります



三期目のお約束

ふるさとの夢と希望と安心を

子供に将来の夢を

・ヒトづくり(教育再興)

- ・日本人として誇りを
持てる教育の推進
- ・モノ作り教育の推進
- ・学力向上
- ・いじめの根絶

高齢者に今日の安心を

- ・特養待機者解消
- ・福祉施設整備
- ・予防介護推進

大人に明日の希望を

・モノづくり(産業振興)

- ・農業の振興
- ・いのちの道路整備
- ・子育て環境整備

産業の振興と
救命救急センター実現に全力

いかに政治の力が重要であるかと言ふ事を、政府与党はし
っかり認識して頂きたいと強く願うものであります。それが
真の政治主導だと思います。

本県にも世界最大出力の羽根橋発電の安全対策とエネルギー
の確保、県内産業の振興を始めるとして人口減少や高速交
通網問題、また災害に強い新潟県土づくり等の諸課題があり、
そして県央地域には救命救急センターなどの課題も有ります。
これら諸課題の解決に向け三期目は泉田知事としっかりと
スクラムを組んで、更に全力で取り組めますので、皆様方には
今まで以上にこのご理解とご支援・ご指導ご鞭撻をお願い申し
上げます。



4/12 建設公安委員会県内視察
柏崎港4/5 燕ジュニアドラゴンズ
武蔵教育長を表敬訪問4/12 建設公安委員会県内視察
国営新潟防災センター

5/30 信濃川水防訓練



4/13 信濃川河川事務所

平成二十二年六月定例会 (6/9/6/25)

- ◎小野議長・小川副議長を選出
- ◎各委員会の新しい構成を決定
- 議会運営委員に選出される
- 議会広報副委員長に選出される
- ◎行財政、農林水産、交通政策などに幅広い議論を展開
- ◎主な議員発議案(全十本)
- 子宮頸がん予防ワクチン接種に関する公的支援を求める意見書
- 実効性のある公共事業を中心とする経済対策の実施を求める意見書
- 高校授業料の実質無償化の見直しを求める意見書
- ◎可決した主な議案
- 一般会計補正予算(総額一億四五〇万円)
- 米粉需要拡大事業
- 並行在来線会社設立準備費
- 離島航路誘客支援事業

8/22

上海万博日本館
上海万博日本館

入口看板



テープカット



売場にて



8/23 農業試験場(長春市)



8/28 200メートルいちび

平成二十二年九月定例会 (9/28/10/15)

- ◎経済対策を始め、福祉・医療問題、交通政策などに幅広い議論を展開
- ◎主な議員発議案(全十五本)
- 追悼決議(故吉沢真澄議員)
- 尖閣諸島沖における中国船衝突事件に関する意見書
- 農業農村整備事業予算の確保を求める意見書
- 拙速な消費税増税議論を慎み、バラマキ政策の見直しを求める意見書
- ◎可決した主な議案
- 一般会計補正予算を可決(総額一五八億七〇〇万円)
- 地域中核企業見本市等出展支援事業
- 地域産業重要創出緊急支援事業交付金(提案公募型)
- 円高対策設備投資緊急促進事業
- 新潟県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業
- 新規高卒者就職支援事業
- 新潟から世界へ夢プロジェクト

九月議会一 船賃問(全二十五問より抜粋)

(全文はH.P.に掲載)

◎金融経済対策

Q 円高が果敢に及ぼす影響は。
A 円高による影響はデメリットがメリットの約三倍と試算され、円高の進行にタイムラグをおいて寄り強く出ていくことが懸念される。

Q 政府の経済対策に対する知事の所見は。
A 更なる為替介入に加え通貨供給量を守護歌する必要がある。歴史を参考に早期に断固たる措置を講じて頂きたい。

◎治安対策
Q 今後本県を訪れる外国人が増加するに伴う犯罪対応は。
A 体制強化と関係機関との連携を密にして、犯罪の早期検挙と犯罪抑止対策を推進していく。

◎農業問題

Q 戸別所得補償モデル対策への加入と地域の開きがあることについての所見は。
A 全国一律の仕組みとなっている為、地域の实情に即した効果的な支援を行うには無理がある。

Q 米価の下落が農家経営と本県農業にあたる影響は。
A 農家経済を悪化させるだけでなく、後継者問題にも波及し、本県農業全体の経営体質を弱体化させる。

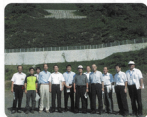
◎自殺問題
Q 自殺者数の減少目標を踏まえた具体的な取り組みは。
A 検討会の結果を受けて予算化していく。

◎医療問題
Q 県中央救命救急センターの設置目標は。
A 今年度中を目標に方向性を整理できるように進めて行く。

意見交換会場



9/1 自民党谷垣総裁来県企業視察



9/14 砂防講演視察(鹿兒島県)

レーダーサイト



9/17 防衛問題講演視察佐渡分屯地

10/20 建設公安委員会県外視察



ホーム

洗化場



9/18 世界遺産推進講演視察佐渡金山



花巻空港



10/21 仙台港



9/25 MOA児童画展



9/20 高武館錬成大会



10/22 ユアテックススタジアム



10/3 川前運動会



9/26 田んぼアート福刈り

平成二十二年十一月臨時会

(11/25)

◎人事委員会勧告に基づき県職員等の給与を引き下げる為、給与条例を改正



連合委員会
代表質問

平成二十二年十二月定例会 (12/1~12/17)

◎産業政策や農業政策などに幅広い議論を展開

◎平成二十一年度企業会計及び普通会計の決算を認定

◎主な議員発議案(全八本)

・B型肝炎患者の救済を求める意見書

・尖閣諸島における中国船衝突事件に係るヒデオ映像の全面公開を求める意見書

・TTP交渉に関する意見書

◎可決した主な議案

◎一般会計補正予算

◎ワクチン接種緊急促進基金事業

◎円高対策設備投資緊急促進事業

◎新規大卒者等就職支援事業

◎新規県人と人の絆づくり条例

◎新潟県優待ものづくり条例

◎「新潟県人と人の絆づくり条例」

◎行財政、農業政策、交通政策などに幅広い議論を展開

◎東日本大震災に対する支援対策及び抜本的な防災対策の確立に関する決議を可決

◎可決した主な議案(総額一五八億円)

◎緊急雇用の創出

◎新生町設備投資促進事業

◎高齢者福祉施設設備事業

◎新潟県暴力団排除条例の制定



第九管区海上保安本部長と
代表質問

一月議会一般質問(全二十三問より抜粋)

(全文はHPに掲載)

◎知事の政治姿勢

◎今後の人口減対策は

◎新成長プロジェクトを推進していく。

◎GDPギャップが解消しない中での商品市況の上昇は景気回復に大きな足かせになると考えるが。

◎本格的な景気回復には原油・原材料格以上

◎上に企業の売上が増加することが重要であり、的確なマクロ金融・経済対策が講じられるべきである。

◎TTPに例外措置が認められるということ

◎は楽観的且つ危険ではないかと思うが認識を改めて伺う。

◎戦略的に交渉すればコメが関税撤廃対象の例外となる可能性があると認識している。

◎雇用問題

◎今後雇用を拡大させると予測される分野はどのような分野を想定しその施策は

◎健康・福祉・医療分野、農業・建設、食品

◎観光などが想定され、引き続き健康ビジネス

◎推進政策・観光振興に加え、医療関連分野

◎野の人材育成や観光の担い手づくりに取り

◎組む。

◎県央救命救急センター

◎検討会議では設備に関して県に一任される

◎となつたが、今までの経緯への認識は

◎具体的な医療体制を提供する条件が整い、

◎センター及び併設病院の実現に向け前進が

◎あつたと認識している。

◎労災病院を基幹病院とすることがベストと

◎考えるが。

◎A 議員の提案も一つの参考とする。



石巻港

5/18・19 東日本大震災視察
仙台市若林区荒浜地区

子供と

5/28 田んぼアート
つば九ろう

あとがき

今回の夢通信は改選時にもあたり、二十二年版版に加え、二十三年版版を含む県議会報告となり、六月議会については次号二十三年版版にて報告致します。県政与議の三期目ともなる員と党では議会の副委員長として執行部の一員を兼とし、一年、議会は総務文教委員長を拝命し来年の高校総体の準備等、今まで以上に忙しい立場となり地元活動への時間が少なくなり大変心苦しく思っています。また今回の通信の準備中に父の死去も重なり、発行が更に遅くなりました事をお詫び申し上げます。